

第1号議案 2012年度事業報告

1. 概要

<この一年>

東日本大震災から2年が経過した。しかし復興に向かう、国、自治体の計画は進まず、子どもや若者たちの環境もなかなか改善しない1年だった。子どもたちを支援する東日本大震災子ども支援ネットワークでは、子どもが直面している困難を「家族や友人を失った孤立、悲しみなどの感情を表現できないつらさ、ずっとがんばってきたことの疲れ、経済的な困窮」などを挙げ、なかでも「遊ぶ活動空間が喪失していること」「イベント型事業や活動は氾濫しているのに日常生活への支援が不足していること」「子ども支援の質の検証が不足していること」を指摘している。その改善のために「子どもの権利条約の視点」「『今』を支援する視点」「包括的な視点に基づいた施策の徹底」「相談救済の仕組みづくり」「横断的ネットワークづくり」「行政と市民社会との協働の推進」「支援者自身の支援」「コーディネート役割の必要」「継続性」「子どもにやさしいまちづくり」の10の視点を持って早急に手をつけるべきと進言している。

これは復興地だけの課題ではなく、丁寧に見ていけば日本全体でも同様の問題が起きており、それを改善するための手だてとして、大変示唆にとんだ指摘だと言える。このネットワークは国、自治体へ提言書を出しており、今後どのような変化が起きていくのか、しっかりと見極める必要がある。

そうしたなか国は政権が変わり、まず低迷している経済へ手が打たれ始めたが、あわせて改憲にも着手すると首相が宣言し今夏の衆院選が注目される。原発の再稼働問題では、冷却水の漏洩があるなど、福島ではまだまったく廃炉の道筋が見えないが、他地域では真下に活断層が発見されたり、発電設備そのものの老朽化など現在止まっている原発について廃炉を含む「始末」が引き続き議論を呼ぶことになる。ただそんな日本が海外で「原発の技術」を売り込もうとしているのは遺憾と言わざるを得ない。

また、民主党政権の時に明らかになった「子どもの貧困」問題に関し、当事者である子ども・若者が大人を動かして「子どもの貧困対策法」が国会に出される制定を目指すことになった。

このほか、名古屋市では市長選が行われ、市長が二期目を迎えることになった。また2013年度に入ってから虐待防止のNPOの役員が副市長になるなど、名古屋市の待機児童、虐待など子どもをめぐる問題への解決に待った無しの段階に入った。

<主たる事業>

昨年から続いて行って来た「発達に障がいのある子ども・若者のための心とからだの講座」(ファイザーホールディング助成)は、誰もがわかりやすい教材を作りながら、保護者向け・支援者向けの研修、当事者である子ども・若者を対象とした3日間の連続講座を行った。まとめとして啓発リーフレット(会員配布済み)を作成し、各所に配布した。直後に講師派遣の依頼が来るなど社会の関心が深いことがわかった。ただファイザープログラムは3年間の継続申請が可能だが、年度内に行った申請は通らなかった。

復興地域で進むまちづくり計画に子どもの声を反映できるよう支援する「ユース・オシカ〜子ども・若者復興計画参画事業」(福祉医療機構助成)では、当初復興計画が進展すると予想してワークショップなどを組み入れた事業計画だったが様々な要因で進まず、時期の最後に現地の小学校の協力を得て子どもたちを対象としたようやくワークショップを行うことができた。また同時に作成した遊びと参画のリーフレット(会員配布済み)は2013年度に入ってから問い合わせが相次ぎ、石巻市・仙台市に発送して在庫がなくなった。現在、改訂増刷ができないかを検討中である。

名古屋市青少年交流プラザとの協働事業「中高生の課題発見・参画事業」では今年度のまちの課題を「居場所」ととらえ、とくに公共施設が中高生利用しやすくすることを提案、後半はその提案を受けて千種スポーツセンターでモデル事業を行った。この事業で知り合った中高生らを核に、現在、若者による社会参画を目指した新しい組

織づくりが芽生えている。

「なごや型コネクションズモデル事業」（名古屋市社会福祉協議会助成）は、二年度を迎え、フォーラム・研究会、ヒアリングや支援情報のファイリング化を行った。その中で、小さいうちから自らのからだの仕組みを知る機会が日本の子どもや若者は乏しいこと、名古屋市における不登校となった児童が日常生活を送る場がきわめて少ないこと等が明らかとなった。ファイリング情報は主に乳幼児を育てている人たちに向けて市内の官民の情報を整理し、本事業の協働者（子育てなごや、こどもNPO）の活動場所で運用してもらっている。

「こどもの貧困」に関しては講師を招いて、名古屋市立大学で連続講座を行った。実際の参加者は伸び悩んだが問い合わせが多く、こちらも関心の強さを感じさせた。今後は「白書」づくりを視野に、より具体的な解決策へ踏み込めるような事業に発展させていきたいと考えている。

＜そのほかの事業。他団体との協働など＞

このほか、ひろばスペースを活かしての乳幼児支援、恒例となった「こどものまち」「外で遊ぼう、0-100 パーク」など、多くのスタッフ・ボランティアの力を借りながら行うことができた。さらに今年度は、寄付文化醸成を背景に、名古屋市市民活動推進センターによる「ぼらちゃり」や、日本財団と名古屋フィルハーモニーによる寄付イベントに参加し、それぞれ活動に共感していただいた市民から寄付金をいただくことができた。また、子どもの参画、とくにヒア・バイ・ライトに関して、静岡県立大学主催の支援者研修会、岩倉市子ども行動計画の一環で支援者研修会ワークショップ、「全国ボランティアコーディネーター大会」・「子どもの権利条約フォーラム in あいち」分科会運営など、さまざまな場面で啓発ができた。

＜子まちとして行政関連で参加している委員等＞ 【 】は参加している理事名。

名古屋市子ども・子育て支援協議会委員、同子どもの参画推進事業検討委員、同市民活動推進協議会委員、名古屋都市センターまちづくり基金運用委員（2012年度まで）、岩倉市子ども総合計画推進委員（2012年度まで）
【以上伊藤】、愛知県青少年保護育成審議委員【田中】

【会員の状況】

正会員	個人：55人、団体：6団体	（昨年度個人：49人、団体：7団体）
情報会員	個人：6人、団体：1団体	（昨年度個人：6人、団体：1団体）
賛助会員	個人：4人、団体：1団体	（昨年度個人：6人）
合計	65人と8団体	（昨年度61人と8団体）

2. 事業の実施に関する事項

※文中敬称略

事業スタッフのうち下線は理事

（1）特定非営利活動に係る事業

① 「こどもにやさしいまちづくり」のための手法開発と普及、支援、政策提言事業（主な事業）

○ 「なごや型コネクションズモデル事業」（名古屋市社会福祉協議会「地域福祉リーディング事業」助成）

実施期間：平成23年4月から平成26年3月までの3年間

内 容：英国の『コネクションズ』を参考に、名古屋でも同様のワンストップ型の相談拠点を作れないかを模索する事業の3ヶ年事業の2年目。①フォーラム・講座の開催 ②学童期から青年期の支援を行う4カ所へヒアリング調査 ③乳幼児を育てる保護者からの相談や悩みを想定した市内の官民の情報のファイリングを行った。

事業スタッフ：NPO関係者（原京子氏（NPO法人こどもNPO）、新田泉氏（NPO法人子育てなごや）、平

田幸恵氏（前NPO 法人 ICDS）、高橋弘恵氏（NPO 法人チャイルドラインあいち）、水野千鶴氏、障がいのある子どもの父母のネットワーク愛知、伊藤・田中・奥田・水野。

○「みんなでつくるチャレンジタウン事業」（名古屋市社会福祉協議会助成）

実施期間：平成 24 年 5 月から平成 25 年 1 月まで

内 容：例年行っている「こどものまち」事業。今年度は名古屋市総合福祉会館を会場として 1 月 12～13 日（参加人数のべ 118 人）に行った。

事業スタッフ：（田中・伊藤・水野、障がいのある子どもの父母のネットワークあいちおよび MIC スタッフ、稲垣）、大学生ボランティア

○「外で遊ぼう！ぜろひゃくぱーく」（千種区社会福祉協議会助成）

実施日時：平成 24 年 5 月から平成 25 年 3 月まで

実施場所と内容：大和公園とひろばスペースで 8 回開催。児童を対象とした日曜開催と、乳幼児を対象とした平日開催を組み合わせたほか、室内のひろばスペースでは、乳幼児を育てている母親たちと外遊びについて話し合う機会も設けた。（平均参加人数 1 日 15 人）。

プレーリーダー：若山香里（てんぱくプレーパーク）

事業スタッフ：（伊藤、稲垣、佐藤（恵）、水野千鶴、田中）

○「課題発見・参画ワークショップ」（名古屋市委託事業）

実施日時：平成 24 年 4 月から平成 25 年 3 月まで

実施場所と内容：昨年度から引き続き、名古屋市青少年交流プラザとの協働で行っている事業。前期では、昨年度のワークショップの成果を受けて「中高生の居場所」について意見をまとめ、8 月〇日には市民活動推進センターで市民に向けて発表したほか、自主企画での運営を行った。後期は「公的な施設を使いやすく」との提案を受けて千種区スポーツセンターで金曜夕方、競技室を居場所として使用してみる「モデル事業」を開催。近隣の中学・高校生が企画委員として運営にあたった。子まちは彼らの活動の支援を行う形を取った。

事業スタッフ：（小島紫・西村・伊藤・田中・水野）

○「ユース・オシカ〜子ども・若者復興計画参画事業」（福祉医療機構助成事業）

実施日時：平成 24 年 4 月から平成 25 年 3 月まで

実施場所と内容：宮城県の牡鹿半島において、子どもたちが復興計画に対し自分の意見を表明できるような環境整備を行うため、当地で計画づくりを担当する名古屋工業大学・北川啓介研究室と協働して、東浜小学校にてワークショップを行った。また宮城県・岩手県を回ってヒアリング調査を行ったほか、石巻市における子ども発のまちづくりや遊び場情報をリーフレットの形にまとめ、現地の保護者・子ども、支援 NPO などに配布した。

事業スタッフ：（小島紫・西村・伊藤・奥田）

収入：5,842,600 円

支出：6,431,374 円

② 子ども・子育て・まちづくりに関する情報収集と発信事業

（主な事業）

○会報「こまち通信」発行（年 3 回。平成 24 年 5 月、9 月、平成 24 年 12 月）

○出版物、報告書・記録集等の頒布

○ホームページ運営管理

○メーリングリスト書き込み数（5 月～4 月）96 回（昨年度：229 回）

収入：3,800 円

支出：363,455 円

③ 子ども・子育て・まちづくりに関わる人々のネットワークづくり、コーディネート事業

(主な事業)

○ワンストップひろば

実施日時：平成24年5月～平成25年4月の祝日や別事業のある日を除く月曜・水曜に開催

内 容：地域の乳幼児とその保護者が、ひろばスペースでおもちゃや絵本で自由に遊んだり、ボランティアスタッフ・外部講師提供のプログラム（手形足形をとる、絵本を楽しむ、新聞紙プール、ダンボールでおうちづくり、スクラップブック、アロマセラピー、骨盤矯正など）を体験して過ごした。年間78日開催し、利用者は親子で500人だった。

○「中高生の居場所作り事業」（名古屋市社会福祉協議会「地域の子ども応援事業」助成）

実施日時：平成24年12月から平成25年3月まで（2カ年）

実施場所と内容：2年計画の2年度として、月1回程度、自由に出入りできる日、コミュニケーションやマネープラン、職業に関するワークショップを行ったほか、青少年支援に関心のある人を対象に講座を行った。名古屋電気工業高校、市邨高校に広報を行い、名電の生徒会の生徒が参加してくれた。ただ、市社協が求める「授業後にふらっと立ち寄る」スペースを作っていくには様々な困難もあり、2013年度継続は見送ることとなった。

事業にかかわった主なスタッフ：(伊藤・田中・西村・武内)

収入：465,560円

支出：621,443円

④ 1)から3)に関する研修・養成等企画運営事業

(主な事業)

○「子どもの貧困を考える～子どもにやさしいまちづくり研修会」（こども未来財団共催）

実施日時：平成24年9月から平成25年1月まで

実施場所と内容：講師に千葉明德短期大学教員で「子どもの貧困ネットワーク」の山野良一氏、日本福祉大学・中村強士氏、名古屋市立大学・藤田栄史氏、名古屋市立教職員組合・小島俊樹氏を招聘し、名古屋市立大学を借りて夜間で実施し、記録集を作成し、会員および関係各所に配布した。

事業スタッフ：(奥田・安藤・伊藤・田中・小島紫・戸谷・佐藤)

○「発達に障がいのある子ども・若者のための心とからだの講座」（ファイザーホールディング助成）

実施日時：平成24年1月から平成24年12月まで

実施場所と内容：支援者向け講座(計2回/参加者80人)・保護者向け講座(計2回/参加者65人)・当事者向け講座(3日間×2回/参加者29人)を展開するほか、家庭・学校・支援拠点で活用できる教材開発を行った。事業運営は、日本福祉大学木全和巳教授や、愛知性教協メンバーや市内の福祉サービス提供事業所スタッフ、特別支援学校教員、障害者生活支援センター職員などで運営委員会を組んで行った。事業の最後に、啓発リーフレットを1,000枚づくり、受講者や行政関係部署、関係者等に配布したり、リーフレットを基に障害者自立支援協議会などで学習会を開催した。

事業スタッフ：(田中・伊藤、松田)

収入：3,280,136円

支出：3,302,737円

3. 会議の開催に関する事項

(1) 総会

通常総会

1、開催日および場所

平成24年6月9日 午前11時15分～12時/場所 名古屋市市民活動推進センター集会室

2、議題

- ① 2011年度事業報告の承認について
- ② 2011年度事業決算の承認について
- ③ 2012年度事業計画の議決について
- ④ 2012年度予算の議決について
- ⑤ 定款変更の議決について
- ⑥ 役員の改選について

(2) 理事会

第1回 理事会

1、開催日および場所

平成24年6月9日 午前11時～午前11時15分/場所 名古屋市市民活動推進センター集会室

2、議題

理事長の選定について

第2回 理事会

1、開催日および場所

平成24年11月1日 午後6時30分～午後8時25分/場所 111 こどもプロジェクト

2、議題

- ① 今年度事業の進捗について
- ② 次年度事業について事業申請など
- ③ なご City 復活有志事業について
- ④ そのほか

第3回 理事会

1、開催日および場所

平成25年3月9日 午後7時15分～午後8時30分/場所 111 こどもプロジェクト

2、議題

- ① 今年度事業の進捗について
- ② 次年度事業について事業申請など
- ③ そのほか